

2019年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
クリスチャン生活

メッセージ 14

完全ににしがった、神の中心的な働きのための生活

聖書：ローマ8:2, 6, 10-11. ガラテヤ2:20, 4:19.
エペソ1:9, 3:16-17前半. コロサイ3:4, 10-11

- I. わたしたちは神の中心的な働きのビジョンを見て、このビジョンによって支配され、方向づけられる必要があります——箴29:18前半. 使徒26:19:
- A. 神の永遠の定められた御旨とは、ご自身を、わたしたちの命またすべてとして、わたしたちの中へと造り込むことであり、それはわたしたちが彼を、わたしたちのパーソンとし、彼を生き、彼を表現するためです。これが神の心の願いであり、聖書の焦点です——エペソ1:9, 3:11, 16-17前半。
 - B. 神の永遠の定められた御旨は宇宙の中心であって、この目的がない限りクリスチャン生活は無意味です——啓4:11。
 - C. 宇宙における、あらゆる時代、世代にわたる神の比類のない働きとは、キリストにあって、ご自身を、神の選ばれた民の中へと造り込んで、ご自身を彼らと一にすることです——ガラテヤ4:19. エペソ3:17前半。
 - D. 神の心の願いにしたがった彼のエコノミーと目標は、ご自身を人の中へと建造し、人をご自身の中へと建造することです——サムエル下7:12-14前半. エペソ3:17前半。
 - E. 神はキリストにあって、ご自身を、わたしたちの中へと造り込むことを願っており、また、キリストであるすべてと、キリストが達成したすべては、この一つのこのためです——ピリピ2:13. エペソ3:17前半. コロサイ3:10-11。
 - F. わたしたちは神に、キリストにあって、ご自身を、わたしたちの命、わたしたちの性質、わたしたちのパーソンとして造り込んでいただいて、キリストにあって、ご自身を、わたしたちの人性の中へと建造していただく必要があります——エペソ3:17前半：
 - 1. 神がわたしたちの日常生活の中で講じるあらゆる方策は、キリストにあって、ご自身を、わたしたちの存在の中へと建造する彼の意図を成就するためのものです——ローマ8:28。
 - 2. わたしたちに対する神の働きは、わたしたちを外面的に改善することではなく、わたしたちの内なる存在を造り変えることです——12:2. IIコリント3:18。
 - 3. 神はわたしたちに起こるあらゆる事を通して、ご自身を、わたしたちの中へと造り込みますが、それは彼がわたしたちの構成となるためです——コロサイ3:10-11. ローマ8:28。
 - 4. 霊的な進歩は、わたしたちの内側で、神に立場を得ていただくことにあります——

エペソ3:17前半、4:15、コロサイ2:19。

II. クリスマン生活は、神聖な分与を経験する生活です——ローマ8:10-11 :

A. 神聖なエコノミーの完成は、神聖な三一の神聖な分与によります——Ⅱコリント13:1

4. エペソ1:3-23、3:14-21 :

1. 聖なる言葉の中の三一の神に関する啓示は、教理的な理解のためにあるのではなく、神聖な三一において、ご自身を、神の選ばれ贖われた民の経験と享受のために、彼らの中へと分与するためにあります——Ⅱコリント13:14。
2. 三一の神（父、子、その霊）は手順を経て、命を与える霊と成りました。それによって、わたしたちは彼から飲むことができ、そして彼はわたしたちの享受となることができます。これが神聖な三一の神聖な分与です——ヨハネ1:14、4:14、7:37-39、Ⅰコリント12:13、15:45後半。

B. ローマ第8章は、どのように三一の神がご自身を命として、わたしたちの三部分から成る存在（霊、魂、体）の中へと分与するかを明らかにしています——2、6、10-11節 :

1. 11節でわたしたちは、三一の神、神の分与のために要求される手順、ご自身を命として信者たちの中へと分与することを持ちます。
2. わたしたちが10節と6節と11節を合わせるとき、わたしたちの霊は命であり、またわたしたちの思いも、霊に付けるなら、命であることを見るだけでなく、その霊を通して、わたしたちの死ぬべき体にも命が与えられることを見ます。

C. クリスマン生活において、自分自身を主に開き続けることによって、また主の御名を呼ぶことによって、絶えずその霊を受けること以上に重要なことはありません——ガラテヤ3:2、5、ローマ10:13。

D. わたしたちは主を愛し、自分自身を彼に開き続け、彼がわたしたちにしてほしいことを何でも行なうためのあらゆる機会を彼に与えなければなりません——マルコ12:30、Ⅰコリント2:9、エペソ3:16-17前半。

E. わたしたちはゆっくりと落ち着いて神聖な分与を受け、また神聖な分与を受ける日常生活に満足することを学ぶ必要があります——ローマ8:11、Ⅱコリント13:14。

III. パウロは、わたしたちが内なる人の中へと増強されて、キリストがわたしたちの心の中に、ご自身のホームを造ることができるように、その結果、わたしたちの内なる存在全体が、ご自身をもって占有され、所有され、浸透、飽和されるようにと祈りました——エペソ3:16-17前半 :

A. わたしたちの心はわたしたちの内なる各部分の総合計、わたしたちの内なる存在の中心、わたしたちの傾向、感情、好み、願望に関するわたしたちの代表です。ですから、キリストはわたしたちの心の中にご自身のホームを造るとき、わたしたちの内なる全存在を制御し、ご自身をもって内なるあらゆる部分を供給し、増強します。

B. キリストはわたしたちの内側で拡張すればするほど、ますますわたしたちの中に定住し、わたしたちの中にご自身のホームを造り、わたしたちの内なる存在のあらゆる部分を占有し、このすべての部分を所有し、ご自身を浸透させます——17節前半。

C. キリストはわたしたちの心の中へと拡張するとき、わたしたちのパーソンとなります——17節前半 :

1. キリストがわたしたちのパーソンとなる唯一の道は、彼がわたしたちの心の中にご自身のホームを造ることです。
2. わたしたちがキリストをわたしたちのパーソンとして、彼をわたしたちの心の中へと拡張させるなら、わたしたちの心の中に生きているパーソンは自己ではなく、キリストであるでしょう——ガラテヤ2:20。

IV. わたしたちのクリスチャン生活に関する神のみこころは、わたしたちがすべてを含み、すべてに拡張するキリストを認識し、彼で構成され、彼を表現することです——啓4:11.

コロサイ1:9, 15-18. 2:16-17. 3:4, 10-11, 15. 4:12 :

- A. 神のエコノミーにおける彼の意図は、すばらしい、すべてを含み、すべてに拡張するキリストを、わたしたちの命またすべてとして、わたしたちの存在の中へと造り込むことであり、それはわたしたちが三一の神の団体の表現となるためです——1:27. 3:4, 10-11。
- B. 神の願いは、すべてを含む、すべてに拡張するキリストが、わたしたちの分け前、命、構成要素、平和となることです——1:9, 12. 3:4, 10-11, 15。
- C. わたしたちは、すべてを含む、すべてに拡張するキリストがわたしたちの経験において、わたしたちにとってすべてとなるまで、彼を注入され、彼で浸透、飽和される必要があります——1:27. 2:16-17. 3:4, 10-11 :
 1. すべてを含む、すべてに拡張するキリストはわたしたちの中にいますが、わたしたちは彼を見て、彼を認識し、彼で満たされ、彼で浸透され、全体的に彼と一になる必要があります。
 2. わたしたちは、すべてを含む、すべてに拡張するキリストにわたしたちの全存在を充満していただき、また、ご自身をもって、わたしたちの文化を置き換えていただくべきです——エペソ3:17前半. コロサイ3:10-11 :
 - a. キリストがご自身をもって、わたしたちの天然の命と文化を置き換えれば置き換えるほど、わたしたちはますます「生きることはキリストであり」と宣言することができるようになります。わたしたちにとって生きることは、わたしたちを完全に所有し、わたしたちを占有し、ご自身をもってわたしたちを満たすキリストであるでしょう——ピリピ1:21前半。
 - b. すべてを含む、すべてに拡張するキリストは、ご自身をもって、わたしたちの天然の命と文化のあらゆる要素を置き換えることを願っていますが、それはわたしたちが彼の団体の表現である一人の新しい人となって、彼の永遠の定められた御旨を成就するためです。——エペソ1:22-23. 2:21-22. コロサイ3:9-11。